

仮想化アプリケーションの移行を単純化

Red Hat Service Interconnect は、仮想アプリケーション・ネットワークを使用してアプリケーションから物理的な相互接続を抽象化し、その接続に固有のアプリケーションコードを変更することなく環境間で移動できるようにします。

仮想化移行の効果を最大化

仮想化市場が進化する中、多くの組織が従来の仮想化デプロイメントに代わる代替手段を模索しています。商業的により有利な条件で仮想マシン (VM) 環境を別の仮想化プラットフォームに「リフトアンドシフト」することを検討している組織もあれば、アプリケーションの多くをクラウドネイティブなアーキテクチャに移行している組織もあります。組織がどんな道筋を選択するにせよ、このような変化はスイッチを一度切り替えるだけで起こるわけではありません。従来のアプリケーションと環境が、新しい環境にリファクタリングされたアプリケーションと対話できることは重要ですが、この転換が起きたときに分散をゼロまたは最小限に抑えて対話することも不可欠です。

[Skupper](#) オープンソース・プロジェクトに基づいて構築された Red Hat® Service Interconnect は、さまざまな物理環境または仮想化環境で実行されているアプリケーションやサービスを接続する機能を提供します。これには、ベアメタル・プラットフォームや仮想化プラットフォーム、パブリッククラウドベースの Kubernetes 環境、オンプレミスまたはクラウドでの Red Hat OpenShift® デプロイメントが含まれます。

Red Hat Service Interconnect で移行を加速

Service Interconnect は、従来の仮想化環境から新しいプラットフォームにアプリケーションを移行しようとしている組織に多くの直接的なメリットをもたらします。

既存のアセットを活用：Service Interconnect は、従来のデプロイメントとクラウドベースのインフラストラクチャ間の接続を効率化し、既存のアプリケーションが新しいアプリケーションやサービスと引き続き通信できるようにします。移行中も既存のアセットを継続して使用できるため、これは組織にとってメリットとなります。

ダウンタイムと分散を最小化：Service Interconnect はトラフィックを切り替え、重要なビジネス・アプリケーションのダウンタイムと分散を最小限に抑えます。

専任の移行チームは不要：Service Interconnect は従来の環境でもクラウドネイティブな環境でも実行できるため、物理的な場所の変更に適応するためにアプリケーションを書き直す必要がありません。そのため、移行プログラムの開発に専念する大規模なチームを配置しなくても、新しい環境にアプリケーションを思い通りに移行するための計画を立てることができます。

セキュリティを強力に重視しながら、開発者向けのセルフサービスを提供：Service Interconnect により、インフラストラクチャ運用者は接続のセキュリティと制御に重点を置きながら、開発者に、プロパティ間の接続をセルフサービスで作成する機能を提供できます。このシンプルな機能を提供することで、開発チームが不正なツールやボロゾーを直接デプロイしてしまうリスクを減らすことができます。

Service Interconnect の可搬性により、組織はまず従来の仮想化プロバイダーから移行し、その後、組織のアプリケーションに適したクラウドネイティブ・アーキテクチャへの計画的な移行を開始できます。

Red Hat Service Interconnect の機能

可用性の向上: Service Interconnect では、従来の仮想化環境から新しいプラットフォームへのリアルタイムのアクティブ/アクティブ・フェイルオーバーを実装することができます。これにより、移行中のアプリケーションに依存する他のアプリケーションやサービスに高レベルのフォールトトレランスが提供されます。

従来の仮想化アプリケーションを新しいプラットフォームに移行する場合、この機能は、冗長アプリケーションを従来のインフラストラクチャと新しいインフラストラクチャの両方で実行することで、障害復旧態勢を強化します。そのため、混乱が予想される移行期間中も安心できます。

デプロイメントの単純化: プロパティ間の相互接続は、少数のコマンドライン・インタフェース (CLI) 入力を使用するだけで効果的に確立できるため、開発者は、アプリケーションの開発中やテスト中に接続の開始および切断を効率的に行うことができます。また、インフラストラクチャ・チームがプロダクションへのデプロイに向けてこれらのプロセスを自動化することもできます。

アプリケーションの可搬性: アプリケーションとそれに関連するネットワークはさまざまな環境間での完全な可搬性を備えており、そのための追加の設定は一切必要ありません。そのため、複雑な移行作業が容易になり、運用効率の向上を始めとするメリットが得られます。アプリケーションを別の環境に移動する必要がある場合、接続もそれに伴って移動します。

アプリケーションとサービス間のセキュリティ重視の接続: Service Interconnect は、デフォルトでクラスタやクラウド全体でスケーリング可能な組み込みのセキュリティ機能を備えています。Service Interconnect ルーター間の接続は専用のプライベート認証局 (CA) を使用した相互トランスポート層セキュリティ (TLS) を実装します。各ルーターはそれぞれ独自の証明書で識別されます。これにより Service Interconnect ネットワークは外部アクセスから分離され、ラテラルムーブメントを使用した攻撃、マルウェアの大量感染、データ盗難などのセキュリティリスクが軽減されます。

Red Hat Service Interconnect で仮想化移行をより効率的に

経済的な課題やその他の課題に直面している組織にとって、Red Hat Service Interconnect は、高額なコストがかかる可能性のある従来の仮想化環境から迅速に移行するための有益なソリューションになります。新しい仮想化環境に移行するための選択肢を提供し、ハイブリッドクラウドのクラウドネイティブ・アーキテクチャに組織のアプリケーションをモダン化できるようサポートします。

Red Hat Service Interconnect を使ってみる

詳細は、[Red Hat Service Interconnect のページ](#)、または[開発者向けのページ](#)をご覧ください。

[60 日間無料の製品トライアル](#)で Service Interconnect を今すぐ試すこともできます。



Red Hat について

Red Hat は、[受賞歴のある](#)サポート、トレーニング、コンサルティングサービスをお客様に提供し、複数の環境にわたる標準化、クラウドネイティブ・アプリケーションの開発、複雑な環境の統合、自動化、セキュリティ保護、運用管理を支援します。

アジア太平洋
+65 6490 4200
apac@redhat.com
オーストラリア
1800 733 428
インド
+91 22 3987 8888

インドネシア
001 803 440 224
日本
03 4590 7472
韓国
080 708 0880

マレーシア
1800 812 678
ニュージーランド
0800 450 503
シンガポール
800 448 1430

中国
800 810 2100
香港
800 901 222
台湾
0800 666 052

f fb.com/RedHatJapan
X twitter.com/RedHatJapan
in linkedin.com/company/red-hat

jp.redhat.com